

医療従事者の需給に関する検討会 第1回 理学療法士・作業療法士需給分科会	資料6
平成28年4月22日	

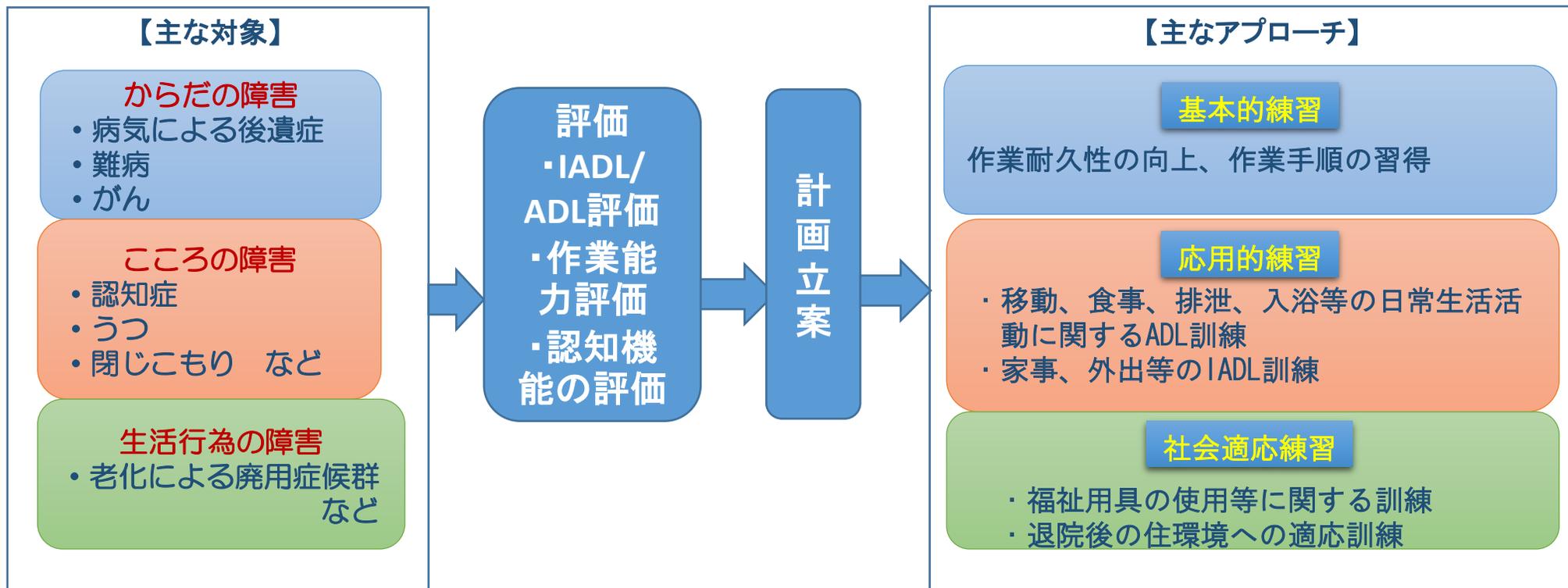
作業療法士を取り巻く状況について

(一社)日本作業療法士協会会員統計資料等を基に作成した作業療法士の状況

**(一社)日本作業療法士協会
副会長 荻原 喜茂**

作業療法士の業務

作業療法士ができること（主に高齢者に向けて）



理学療法士・作業療法士法（抄）（「理学療法士及び作業療法士法」昭和40年6月29日法律第137号）

○（定義）

第二条 この法律で「作業療法」とは、身体又は精神に障害のある者に対し、主としてその応用的動作能力又は社会的適応能力の回復を図るため、手芸、工作その他の作業を行なわせることをいう。

4 この法律で「作業療法士」とは、厚生労働大臣の免許を受けて、作業療法士の名称を用いて、医師の指示の下に、作業療法を行なうことを業とする者をいう。

○（業務）

第十五条 理学療法士又は作業療法士は、[保健師助産師看護師法（昭和二十三年法律第二百三十三号）第三十一条第一項](#)及び[第三十二条](#)の規定にかかわらず、診療の補助として理学療法又は作業療法を行なうことを業とすることができる。

作業療法教育(卒前教育)

養成課程と養成校の実態

- ・高校卒業後、文科省管轄養成校もしくは厚労省管轄養成校で3年以上修業

・大学	63校	(2326名)
・短大3年以上	3校	(100名)
・国公立専門学校	1校	(20名)
・私立専門学校	107校	(4594名)
計	173校	(7040名)

(2014年)

作業療法士養成カリキュラム

・基礎分野(14)

科学的思考の基盤、人間と生活、社会学、外国語、保健体育

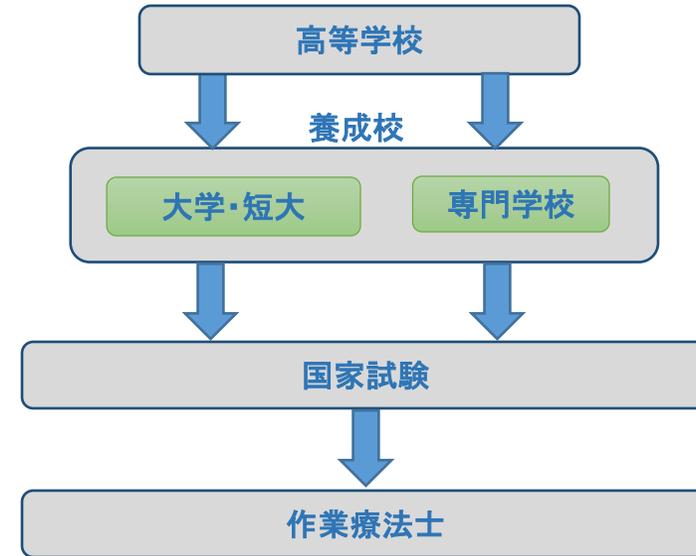
・専門基礎分野(26)

基礎医学(解剖学、生理学)、臨床医学(神経内科学、老年期医学、精神医学、心理学、小児科学、整形外科学、運動学、その他)、人体の構造と機能及び心身の発達、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進、保健医療福祉とリハビリテーションの理念

・専門分野(53)

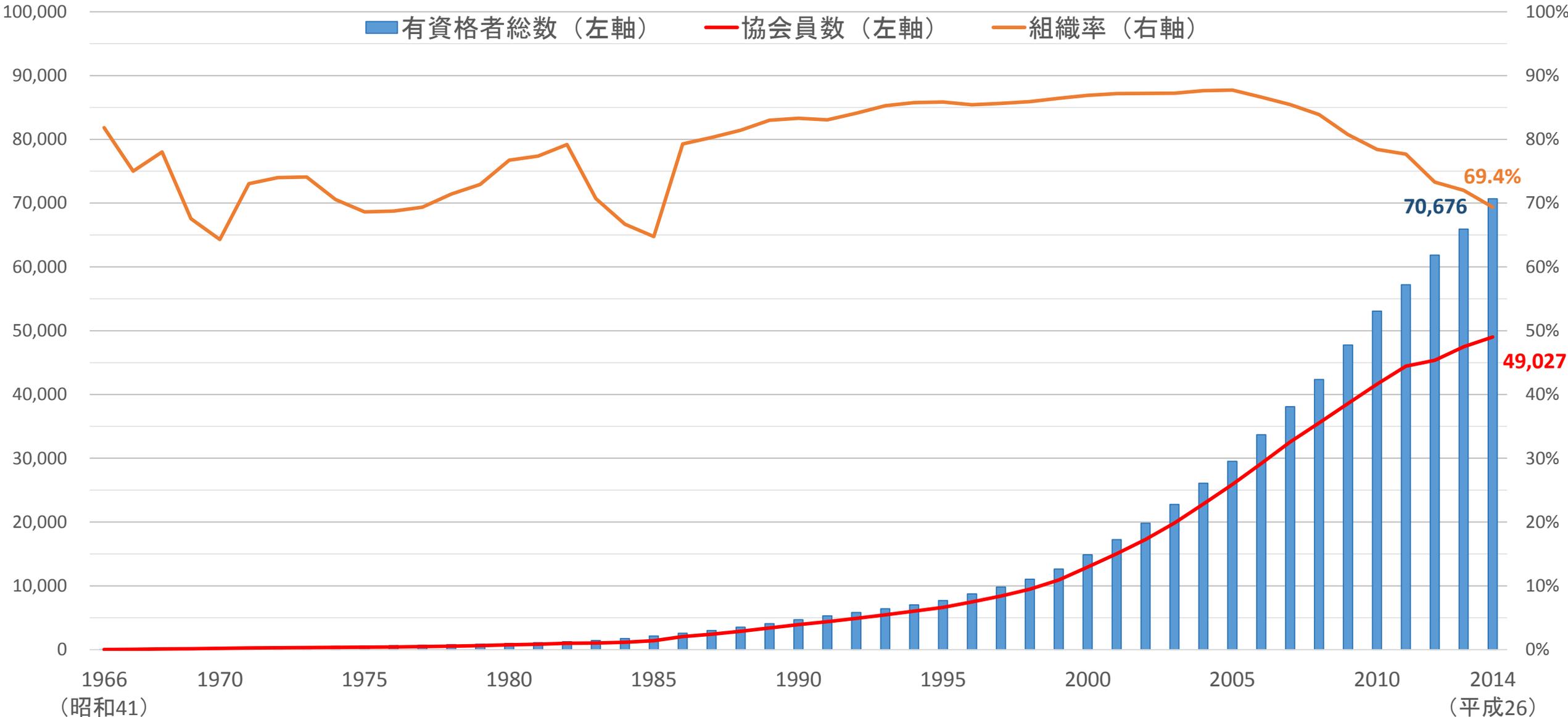
基礎作業療法学、身体障害・精神障害・発達障害・認知症を含む老年期障害・高次脳機能障害等に対する作業療法評価学/作業治療学、地域生活支援のための地域作業療法学、臨床実習(身体障害、精神障害、発達障害、認知症を含む老年期障害等)

合計単位 93単位



作業療法士有資格者総数と協会員数・組織率の推移(1966年～2014年度)

(単位:人)

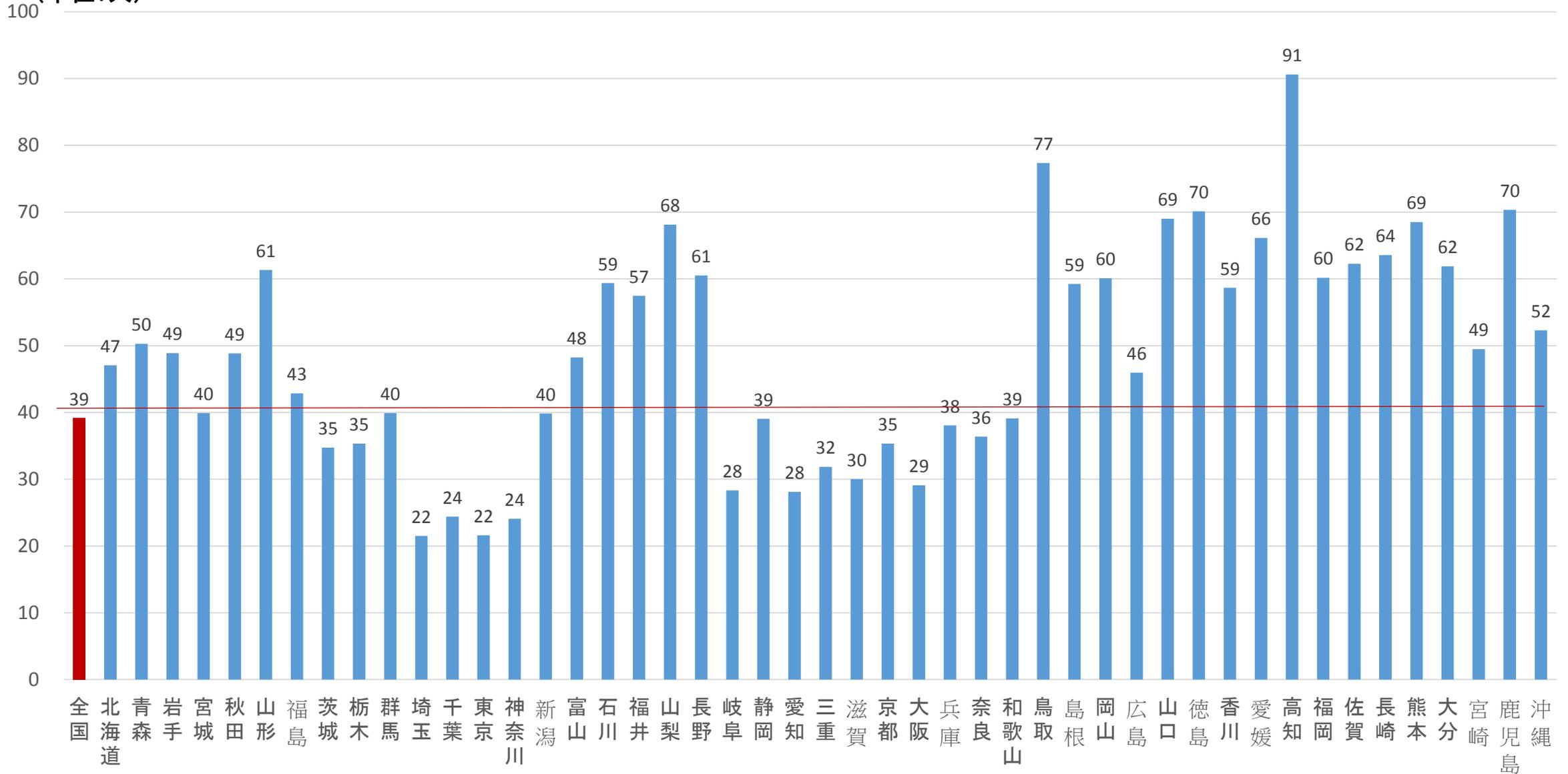


※有資格者総数は、過去の国家試験合格者数を単純累計したものであり、免許証の未登録、取り消し、死亡その他の理由による消除の結果生じた減数分は算入されていない。
※組織率は、協会員数を有資格者総数で除したもの。

出典:(一社)日本作業療法士協会会員統計資料

人口10万对都道府県別会員数(2014年度)

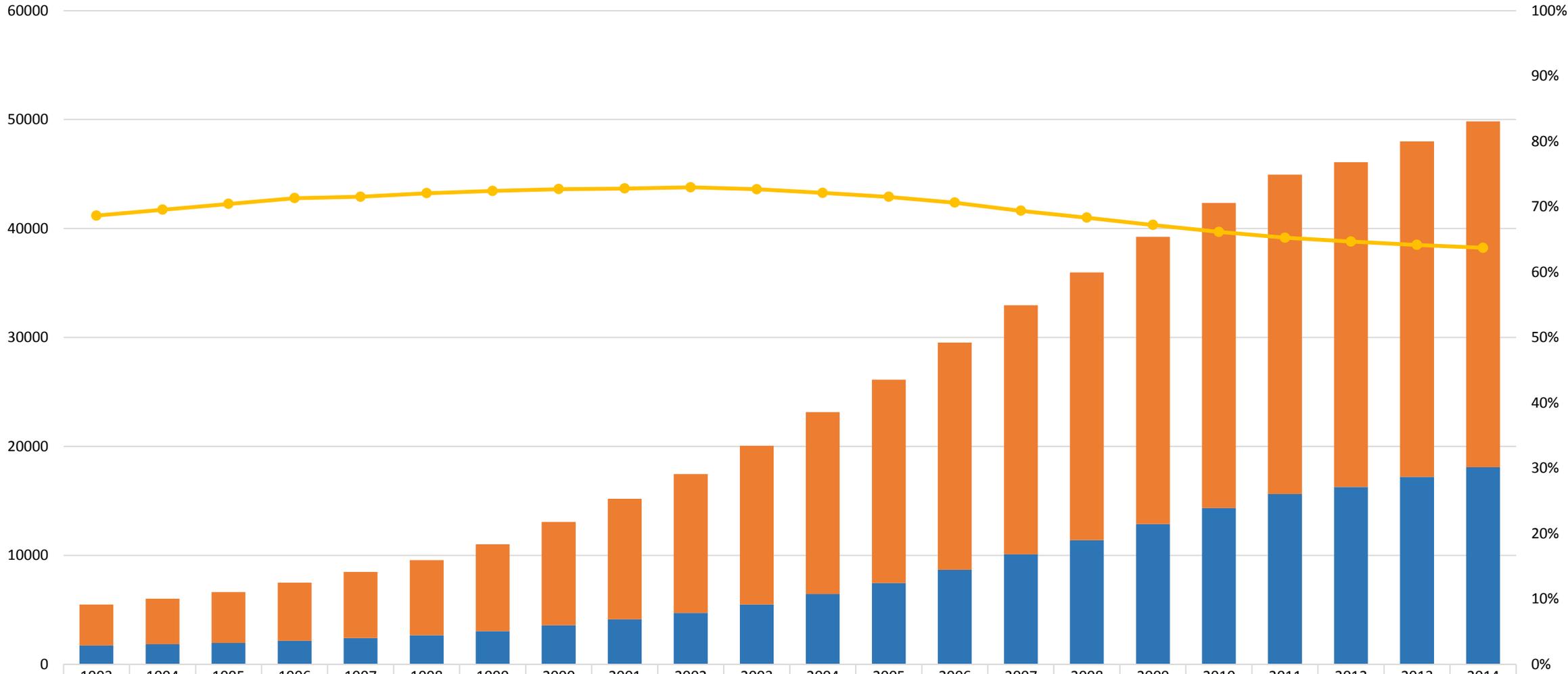
(单位:人)



日本作業療法士協会員の女性比率(1993年度～2014年度)

(単位：人)

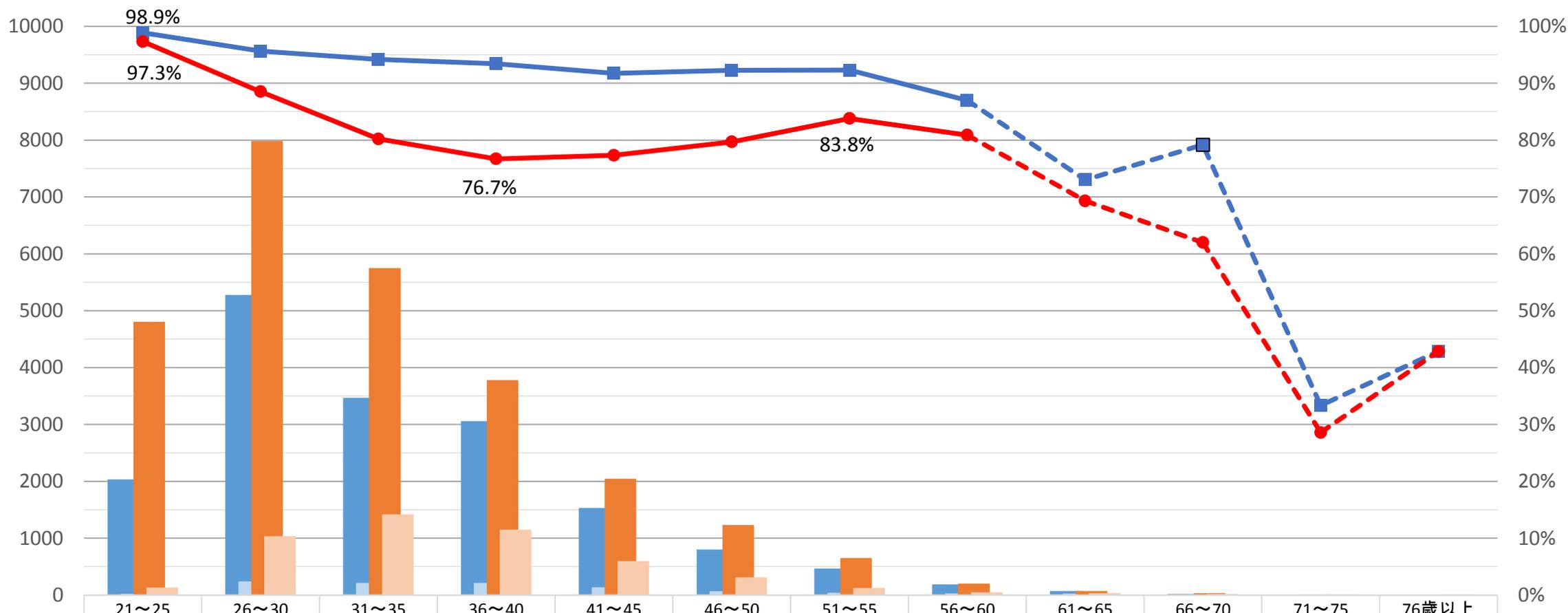
■ 男性会員数(左軸) ■ 女性会員数(左軸) ● 女性比率(右軸)



■ 女性会員数(左軸)	3768	4186	4673	5340	6057	6897	7976	9494	11059	12739	14572	16697	18686	20854	22860	24570	26373	28009	29340	29806	30799	31759
■ 男性会員数(左軸)	1722	1833	1963	2148	2412	2673	3040	3567	4134	4719	5479	6454	7445	8678	10088	11391	12868	14339	15618	16286	17209	18082
● 女性比率(右軸)	69%	70%	70%	71%	72%	72%	72%	73%	73%	73%	73%	72%	72%	71%	69%	68%	67%	66%	65%	65%	64%	64%

出典：(一社)日本作業療法士協会会員統計資料

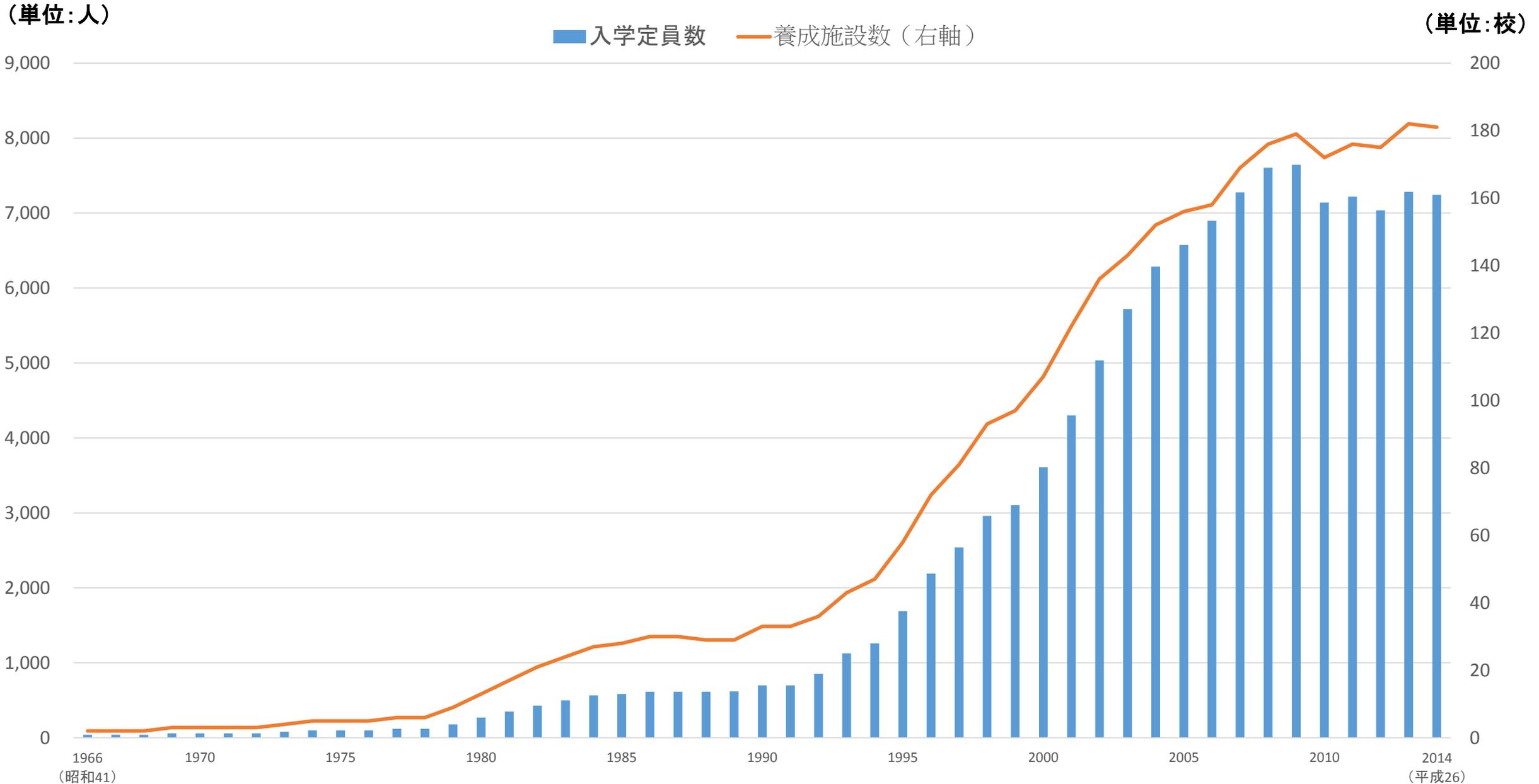
日本作業療法士協会 性別・年齢別就業状況 (2014年度)



※60歳以上は多くの作業療法士が定年を迎えるため、会員数が極端に減少しており、就業率は参考値。

出典：(一社)日本作業療法士協会会員統計資料

作業療法士養成数(入学定員)及び養成施設数



国家試験受験者数・合格者数及び合格率

(単位:人)

■ 国家試験受験者 (左軸)

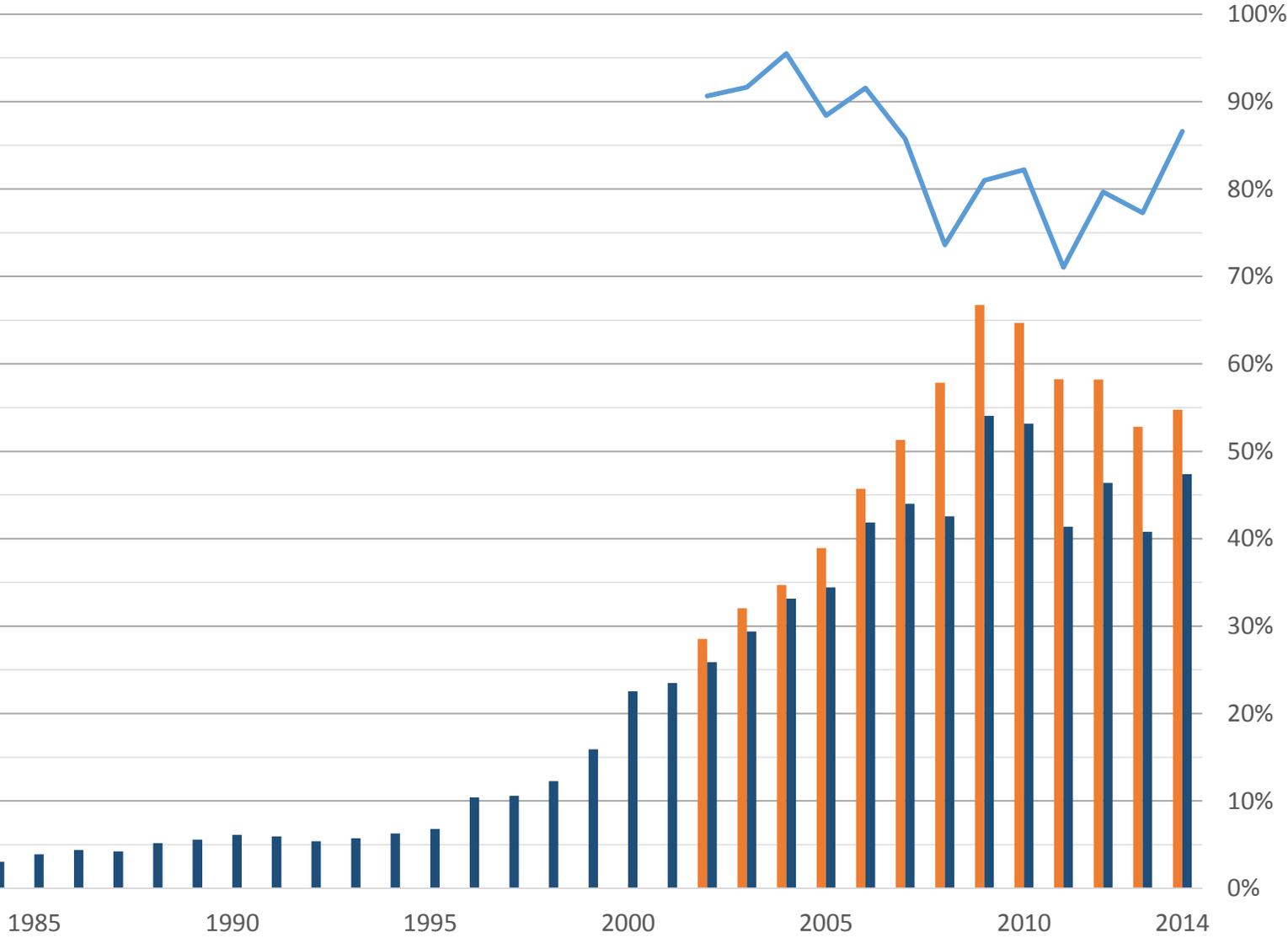
■ 国家試験合格者 (左軸)

— 国家試験合格率 (右軸)

(単位:校)

※国家試験受験者・合格者・合格率については
2002年～2014年までのみを表示

国家試験回数	受験者	合格者	合格率
第37回(2002年)	2,854	2,587	90.6%
第38回(2003年)	3,205	2,937	91.6%
第39回(2004年)	3,469	3,313	95.5%
第40回(2005年)	3,893	3,442	88.4%
第41回(2006年)	4,571	4,185	91.6%
第42回(2007年)	5,131	4,400	85.8%
第43回(2008年)	5,783	4,257	73.6%
第44回(2009年)	6,675	5,405	81.0%
第45回(2010年)	6,469	5,317	82.2%
第46回(2011年)	5,824	4,138	71.1%
第47回(2012年)	5,821	4,637	79.7%
第48回(2013年)	5,279	4,079	77.3%
第49回(2014年)	5,474	4,740	86.6%



1966
(昭和41)

1970

1975

1980

1985

1990

1995

2000

2005

2010

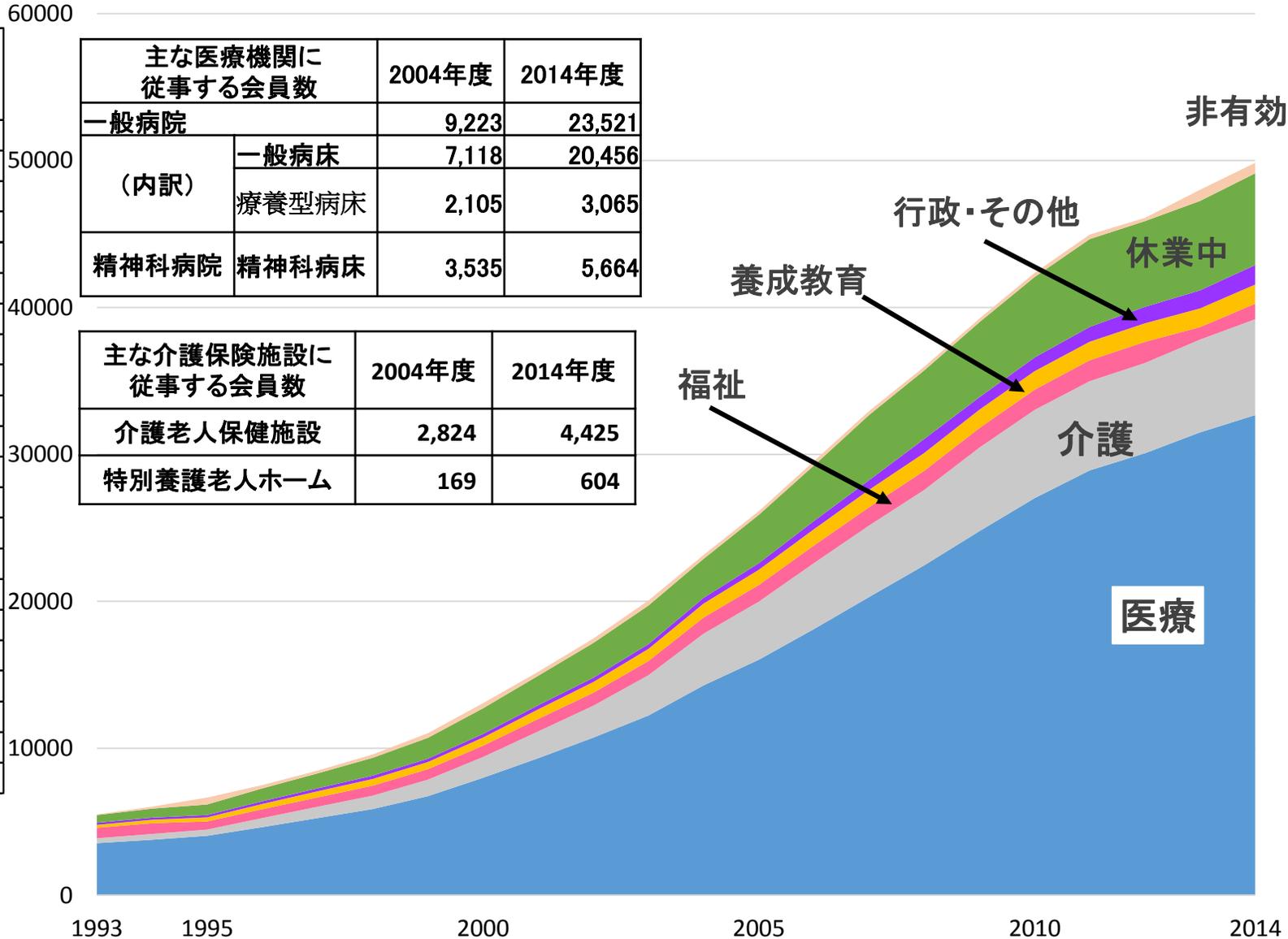
2014
(平成26)

協会員領域別配置状況(1993年～2014年度)

(単位:人)

■ 医療 ■ 介護 ■ 福祉 ■ 養成教育 ■ 行政・その他 ■ 休業中 ■ 非有効

年度	医療	介護	福祉	養成教育	行政・その他	休業中	非有効	総数
1993	3,534	334	710	201	142	524	45	5,490
1994	3,766	395	730	235	144	613	136	6,019
1995	4,034	426	553	277	155	722	469	6,636
1996	4,625	618	603	356	182	880	224	7,488
1997	5,240	773	631	420	196	1,021	188	8,469
1998	5,855	912	679	456	225	1,215	228	9,570
1999	6,730	1,125	709	491	221	1,424	316	11,016
2000	7,983	1,415	766	559	240	1,749	349	13,061
2001	9,314	1,826	845	653	279	2,008	268	15,193
2002	10,715	2,175	879	731	286	2,372	300	17,458
2003	12,223	2,744	965	828	321	2,628	342	20,051
2004	14,273	3,522	1,097	952	384	2,659	264	23,151
2005	16,018	3,955	1,131	1,037	443	3,295	252	26,131
2006	18,107	4,489	1,197	1,110	555	3,782	292	29,532
2007	20,287	4,868	1,245	1,185	651	4,441	271	32,948
2008	22,444	5,135	1,301	1,214	951	4,669	247	35,961
2009	24,772	5,688	1,329	1,250	847	5,109	246	39,241
2010	27,016	6,005	1,376	1,263	929	5,477	282	42,348
2011	28,906	6,075	1,422	1,262	1,007	5,980	306	44,958
2012	30,073	6,145	1,436	1,265	1,116	5,839	218	46,092
2013	31,496	6,318	846	1,273	1,227	6,088	760	48,008
2014	32,673	6,524	1,053	1,310	1,322	6,245	714	49,841

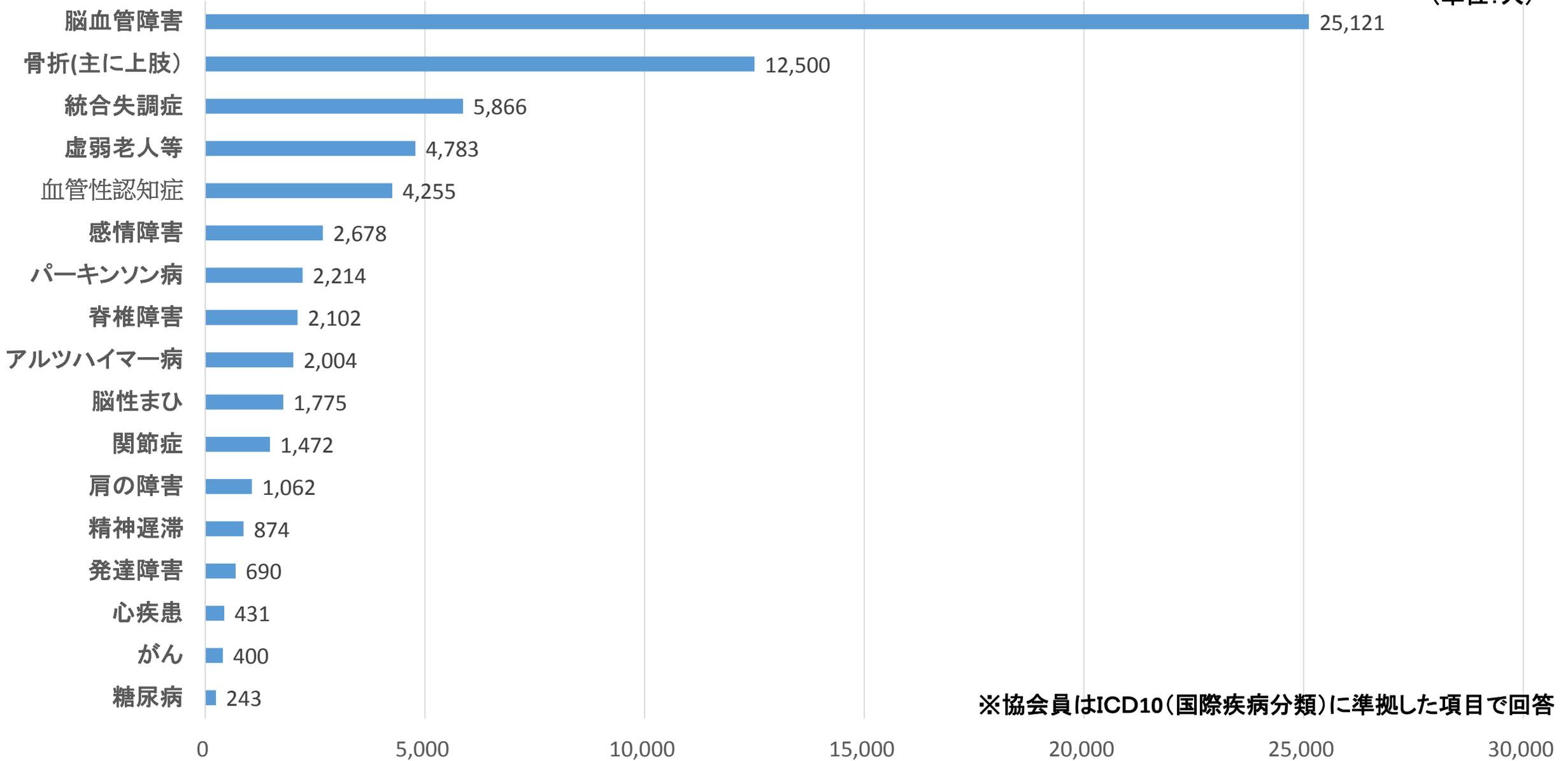


主な医療機関に従事する会員数		2004年度	2014年度
一般病院		9,223	23,521
(内訳)	一般病床	7,118	20,456
	療養型病床	2,105	3,065
精神科病院	精神科病床	3,535	5,664

主な介護保険施設に従事する会員数		2004年度	2014年度
介護老人保健施設		2,824	4,425
特別養護老人ホーム		169	604

作業療法が対象とする主な疾患に係る協会員数(2014年度)

(単位:人)



※協会員はICD10(国際疾病分類)に準拠した項目で回答